

平成30年度 国語科授業の略案 (2学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
6月13日(水) 4校時	だいじなことをおとさずに、 話したり聞いたりしよう	ともこさんは どこかな
本時のねらい(2/3時間目) ○人物を探す手がかりとなる大事な事柄が分かり、落とさず聞いたり話したりすることができる。		
評価規準 話・聞 人物を探す手がかりとなる大事なことを落とさずに、話したり聞いたりしている。(発言・ノート)		
学習過程	学習活動(○発問・予想される児童の反応)	留意事項・ 評価
【導入】 11:15	○前の授業のまとめ、ふり返りを隣の人と伝え合しましょう。 ・迷子の子のお知らせをするための台本を書きました。 ・服や持っているものに気を付けて書きました。	・前時の学習のふり返りをする。
【展開】 課題把握 11:20 ・問いの共有 ・シラバス ・言語わざ 集団解決 ・ペア学習 11:28 ・全体学習 11:36 まとめ 11:51	1 課題を把握する。 前時で作成した迷子のお知らせの台本をもとに、ペアでお知らせを話して伝え合い、探し合う活動をするを伝える。 だいじなことがぬからないように、まいごのお知らせをつたえよう。 ○「だいじなこと」とはどんなことでしょうか。 ・どんな服装か ・どんなものを持っているか ○話すときにはどんなことに気を付ければいいでしょうか。 ・声の大きさ ・速さ ・大事なところはゆっくり読む ペア学習(8分)・学び合い(15分)・まとめ(3分)・振り返り(6分) 「ともだちのよいところをさがしながら聞こう」 4 迷子のお知らせを伝え合う。 ○一度、一人で練習読みしましょう。 ○ペアでお知らせを伝え合って、迷子の子を探しましょう。 5 見つけやすいお知らせのポイントを話し合う。 ○迷子の子を見つけやすかった人は、見つけやすかった理由を発表して下さい。 ・服装や持ち物を詳しく話していたからです。 ・大きな声でゆっくりと話していたからです。 ○1~2人、全体の前でお知らせを話し、良かった点を見つける。 ・どんな服を着ているか、どんな持ち物を持っているか話していた。 ・大きな声で、ゆっくりと話していた。 ・迷子の子の特徴を、はっきりと話していた。 ○大事なことが抜からないようにつたわるためには、どんな伝え方をすればいいでしょうか。 ・大事なことを大きな声でゆっくりと話す。 ・特徴を詳しく話す。 だいじなことをぬからないようにつたえるためには、つたえたいことを、くわしくはっきりと話すことが大切です。	・ノートを見返すよう促すことで、迷子の子を見つけるために大事なことを想起できるようにする。 ・机間指導の際、特徴を詳しく話しているか、聞き取りやすい声の大きさやスピードで話しているかどうか確認する。 ・特徴を伝える場合、色だけでなく装飾品などの情報を織り交ぜるとさらに分かりやすくなることを伝える。 話・聞 人物を探す手がかりとなる大事なことを落とさずに、話したり聞いたりしている。(発言・ノート)
【終末】 ふりかえり 11:54	6 本時の振り返りをする。 ・○○さんのお知らせが、詳しくて上手でした。 ・相手に伝わるように話すのが難しかったです。 ・詳しく説明するだけでなく、声の大きさや話す速さも大事なのだとわかりました。	